

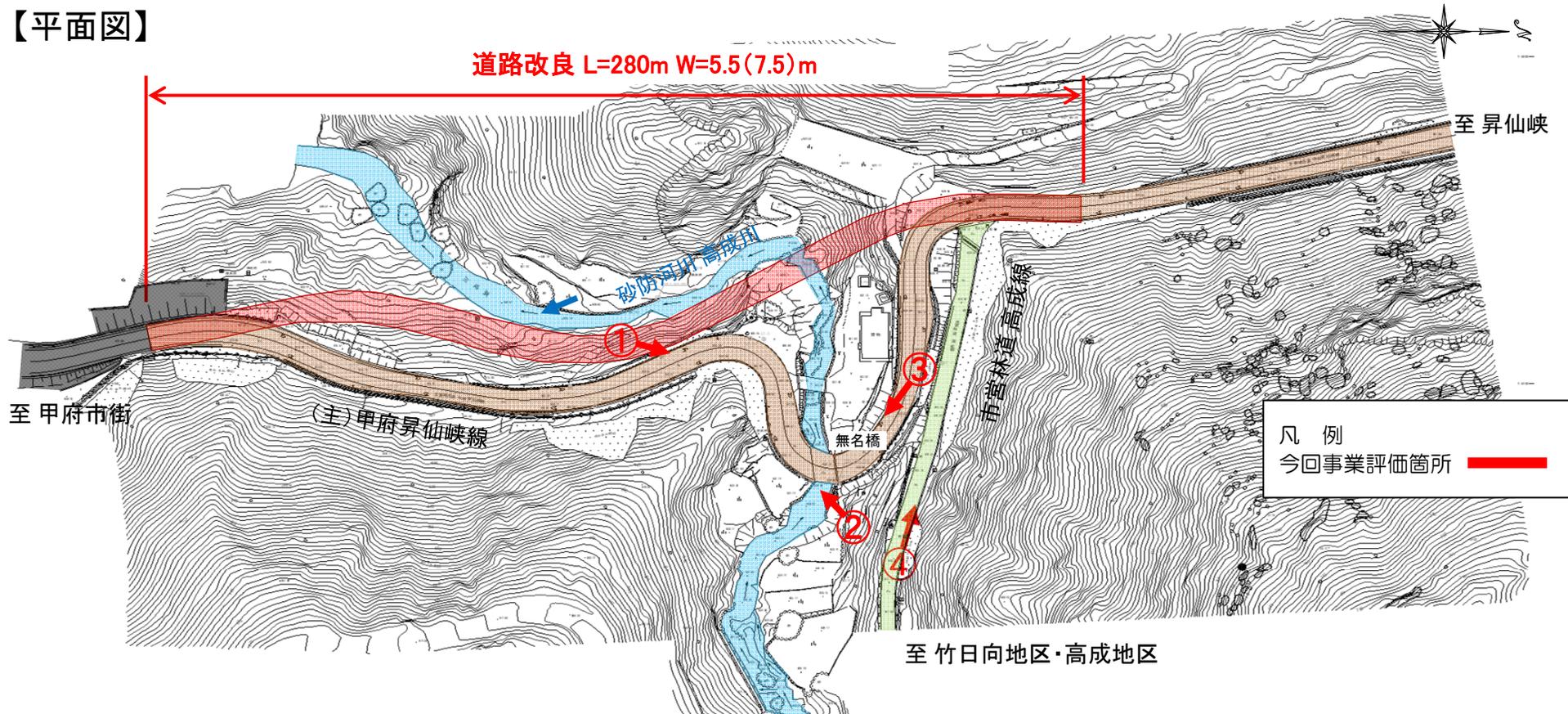
1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	甲府市竹日向町	地区名	(主) 甲府昇仙峡線 (竹日向工区)	事業主体	山梨県
(1) 事業の概要				(3) 中・長期計画等の位置付け			
<p>①課題・背景</p> <p>本路線は、甲府市上石田から同市御岳町を結ぶ全長22.7kmの道路であり、国の特別名勝御岳昇仙峡へアクセスする主要な観光道路である。 当該区間は、道路幅員が狭小で道路線形も悪いことから、車両のすれ違いが困難な交通の隘路となっており、早急な整備が望まれている。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 山梨県総合計画 (令和5年10月改訂) 山梨県強靱化計画 (令和6年3月改定) 山梨県社会資本整備重点計画 (第4次) (令和4年9月改訂) 山梨県道路の整備に関するプログラム (令和6年3月) 			
<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険度 (落石等) : 対策箇所あり 損傷度等 (落石等) : 通行止めの実績 (過去3年間) 2回 > 2回以上※ 緊急輸送路の指定 : 指定なし 自動車交通量 : 1,026台/12h (R3センサス) < 3,340台/12h (平日) 以上※ <p>□副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 混雑時走行速度 27.7km/h < 30km/h 以下 ※ ※評価基準値 自動車交通量 : 1,026台/12h (R3センサス) < 3,340台/12h ※ <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持 (集落と集落を結ぶアクセス道であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路の解消)</p>				(4) 事業位置図等			
<p>③目標達成の方法</p> <p>甲府市竹日向町におけるL=280mについてバイパス整備 車線数: 1→2 車道幅員: 5.0 (6.0) m → 5.5 (7.5) m</p>							
(2) 整備内容							
①整備内容 道路改良 L=280m W=5.5 (7.5) m							
②着手年度 令和7年度				③完成見込年度 令和15年度			
④総事業費 約1,500百万円 (国費833百万円(5.55/10) 県費623百万円(667/10))							
⑤年度別の整備内容 (事業費)							
令和7年度 測量・設計 20 百万円							
令和8年度 用地測量、用地補償 60 百万円							
令和9年度 用地補償、道路改良工事 140 百万円							
令和10~14年度 道路改良工事・橋梁工事 1,100 百万円							
令和15年度 道路改良工事 180 百万円							
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。							
⑥既整備内容・期間・事業費							
新長とろ橋 道路改良L=348m W=5.5(10.0)m・H24~R9・約21.3億円							
櫻橋 道路改良 L=300m W=5.5(9.5)m・H30~R6・約6億円							

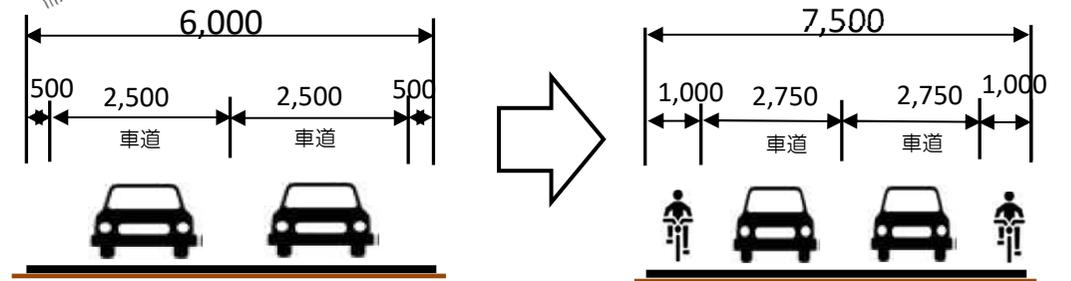
2.評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) 地域の重要な生活道路であるとともに、甲府市街地と御岳昇仙峡を結ぶ観光道路であり、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) 現道拡幅は、大規模な切土が生じ大きな地形改変になることと、工事中に車線の切り替えに伴う長期の片側交互通行が伴うことから、橋梁によるバイパス整備とし、自然環境への影響が最小限で経済性に優れる計画とした。</p>																																													
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か) 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) 県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の整備手法の有無 〈 有 〉・ 無 〉</p> <p>(状況) なし</p>																																													
<p>(3) 経済効率性 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;">総事業費</td> <td style="width:15%;">1,500</td> <td style="width:15%;">百万円</td> <td style="width:10%;">工期</td> <td style="width:15%;">R7~R15</td> <td style="width:10%;">基準年</td> <td style="width:10%;">R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td colspan="2">費用</td> <td colspan="2">便益</td> <td colspan="2">1,219 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,086</td> <td>百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td>1,111</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>22</td> <td>百万円</td> <td>走行経費減少</td> <td>48</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td>5</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td>55</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="5">1.1</td> </tr> </table> <p>※その他は、災害解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	総事業費	1,500	百万円	工期	R7~R15	基準年	R6	経済効率性	費用		便益		1,219 百万円		建設費	1,086	百万円	走行時間短縮	1,111	百万円	維持管理費	22	百万円	走行経費減少	48	百万円				交通事故減少	5	百万円				その他※	55	百万円	B/C		1.1					<p>(6) 環境負荷等への配慮 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) ルート選定や道路構造等については、可能な限り周囲の自然環境への影響が少なくなるような計画にするとともに、当該箇所は、秩父多摩甲斐国立公園内であるため、景観にも配慮する。</p>
総事業費	1,500	百万円	工期	R7~R15	基準年	R6																																								
経済効率性	費用		便益		1,219 百万円																																									
	建設費	1,086	百万円	走行時間短縮	1,111	百万円																																								
	維持管理費	22	百万円	走行経費減少	48	百万円																																								
				交通事故減少	5	百万円																																								
				その他※	55	百万円																																								
B/C		1.1																																												
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) 当該箇所は未改良区間であり、道路線形や急勾配を解消する最も効果的な事業規模である。</p> <p><input type="checkbox"/> 同等施設等 (計画を含む) の有無 〈 有 〉・ 無 〉</p> <p>(状況) なし</p> <p><input type="checkbox"/> 必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況) 整備区間は、未改良区間を回避するバイパスに必要な最小区間L=280mとした。幅員等、道路規格は道路構造令による。</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>(理由) 高成地区や竹日向地区、昇仙峡観光協会から早期の改良要望を受けている。今後は、説明会等を通し、更なる合意形成を図っていく。</p> <p>《総合評価》 〈 妥当 〉・ 妥当でない</p> <p>7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>																																													

【平面図】



【標準横断図】



3.添付資料シート(2)

